

埼玉県インディアカ協会

発行人

埼玉県インディアカ協会会長 秋谷昭治

発行 SIA広報部 ミケ尻・手島・箕輪

高橋・大久保・稲葉・巻島・金子・玉生・茨木

<http://sia.web.infoseek.co.jp/>

第9回 シニア大会 より

平成19年9月17日(日)、さいたま市記念総合体育館に於いて、《第9回 埼玉県インディアカ・シニア大会》が、全66チーム(12コート)で開催されました。



↑チャンプの皆さん

「そんなのがんげ～ねえ～！」

(若者には負けられない！)

おじさんアタック！→

チャンプさん(さいたま市)による「そんなの関係ねえ～！」(皆さんに見せたかったですねえ)というはつらつとした交流宣言に始まり、皆さん「ホントに、シニア？」と思わせるような、ハッスルプレーを展開していました。そして、長年?の経験によると思われるような、意外な(奇想 天外な?)プレーもたくさん出現し、レクリエーションスポーツである「楽しい」インディアカを満喫してくださった1日でした。



☆各コート

優勝チーム



コート	種目	優勝チーム名	市町村
1	女子オールド	ひまわりB	桶川市
2	男女混合オールド	ザ・ひまわり	三芳町
3	女子ミドル	游日	さいたま市
4		NAGAKURA	幸手市
5		不動岡ラッキーズ	加須市
6		ブルーエンジェル	小鹿野町
7		乱舞Ash	さいたま市
8	男女混合ミドル	とんぼ	秩父市
9		富士見キャッツ	富士見市
10		天元	さいたま市
11		ちゃれんじ倶楽部	川島町
12		ザ・イーズ	さいたま市

→ おば……失礼!
お姉さん、スパイクウウ!

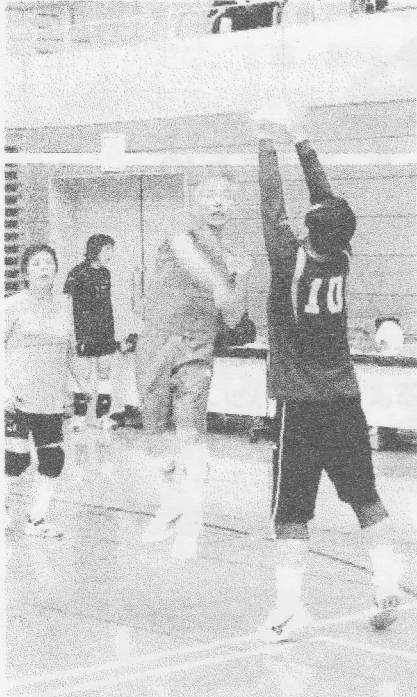


「輝く人賞」(シニア大会)

スローガンである「輝く人に人が集まる」は「いつまでも続けていく素晴らしさを伝えること」も意味しています。シニア大会はそのメッセージを体現する大会でもあります。

そこで、県協会では「いつまでも 赤い羽根を追ってください」とのメッセージに心を込めて、60歳の方を表彰させていただいています。

今大会でも「輝く人賞」として、下の賞状と記念品の鉢植えが贈られました。



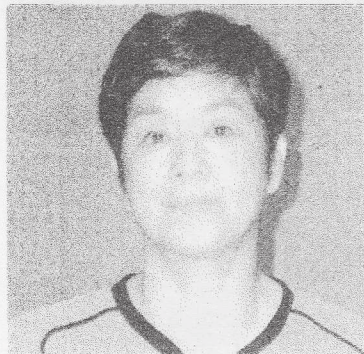
今年は、亥年！いつまでもイノシシのように元気よく、シャトルへ向かって、突っ走ってください！

皆様のご健康と、はつらつとしたプレーが続くことを県協会会員一同、願っています！

プレゼントの鉢植えです



受賞なさった方からのコメント



55歳でインディアカを始め、6年目となります。

初めての試合が中央大会という幸運に恵まれ、以後、いろいろな試合に参加しています。

楽しいとき、苦しいとき、何でも話し合える仲間と共に、週2回の練習に励んできました。試合をとおして、他チームの人達との交流も深まり、よい刺激を受けています。

いつまでも、若く、健康でいられるよう、家族の応援を受けながら、インディアカを楽しく続けていきたいと思えます。 **加須市 不動岡ラッキーズ 岡戸さん**



各コート優勝、準優勝チームに賞状と賞品が、そして、1位チームが抽選をして、各コートから1チームずつに特別賞が贈られました。特別賞は、小島さいたま市インディアカ協会会長から、各チームへ、朝、精米したての新米3kgをいただきました。



「チームのみんなで、分けていただきました。みんな『美味しかった』と言ってました」

第5コート特別賞 ストロベリース(草加市)のIさんからのコメントでした！

←試合中の
ストロベリースさん



ハッピーハンド(幸手市)が

マスコット「アップリート君」→

第20回 全国スポーツ・レクリエーション祭

スポレクあおもり2007 に参加しました!

平成19年9月22日(土)～25日(火)に第20回全国スポーツ・レクリエーション祭「スポレクあおもり2007」が開催されました。インディアカは、23日(日)24日(月)にむつ市で大会が開催されました。埼玉県からは、幸手市が代表として参加しました



「熱くなれ みんな輪になれ りんごの国で」のスローガンのもと、第20回全国スポーツ・レクリエーション大会IN青森に幸手市ハッピーハンド10名が全国の愛好者の皆さんと熱い交流を図ってきました。

会場になった「しもきた克雪ドーム」は日本列島の最北端、下北半島の中心地に位置し、南にむつ湾、西には釜臥山に囲まれた自然の中に建つ全国的にも珍しい床に人工芝を敷詰めた競技場です。

開会式には参加1都2府39県、47チームの選手達が一堂に会し、入退場行進時は手拍子で会場全体が多いに盛り上がりました。

大会結果は予選リーグ2位、決勝リーグは惜しくも得失差で4位。

成績はいまひとつでしたが、地元青森県役員、ボランティアの方々の温かいおもてなしの心にメンバー一同感謝、感謝!!

なお、平成20年度は滋賀県で開催されますので、全国の皆さんと楽しい交流を体験して見てはいかがでしょうか。

幸手市ハッピーハンド選手一同

対戦した徳島の皆さんが披露してくれたさった本場の「阿波踊り」

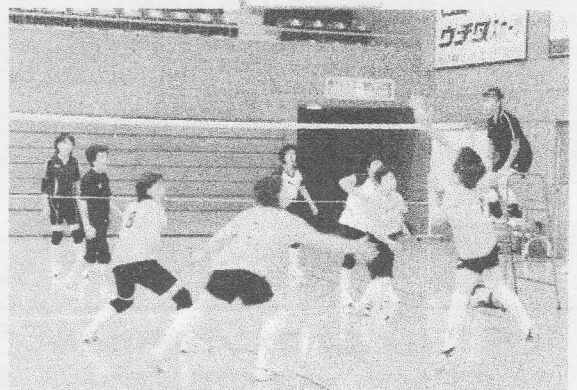


北部ブロック中央大会予選会

平成19年9月23日(日)、秩父市文化体育センターで北部ブロック予選会が開催されました。中央大会出場が決まっている混合、シニア男子以外の4種目で13チームの参加で6チーム枠を競って、少ないながらも熱戦が繰り広げられました。少数精鋭で中央大会での健闘を期待しています。

宮田副会長や黒澤実行委員長からの挨拶の中で、ここ数年予選会の参加チームが少なくて寂しい。多くのチームが中大会を目指していくように努力して、参加チーム数を増やしていただきたいとの発言がありました。上位大会を目指す真剣勝負の試合後は、嬉しさ、悔しさ、様々な思いがこみ上げますが、充実した気持ちになれるものです。来年は、多くのチームに参加していただきたいと思います。

記 金子 哲夫



中央大会出場チーム

一般男子	オールワン(秩父市)	シニア男子	ファット(秩父市)
一般女子	ブルーエンジェル(小鷹野町)	シニア女子ミドル	ドリーム(秩父市)
	ハムちゃんず(小鷹野町)		ビクトリーズ(秩父市)
一般男女混合	ピンクバンサー(秩父市)	シニア男女混合ミドル	とんぼ(秩父市)



西部ブロック審判講習会



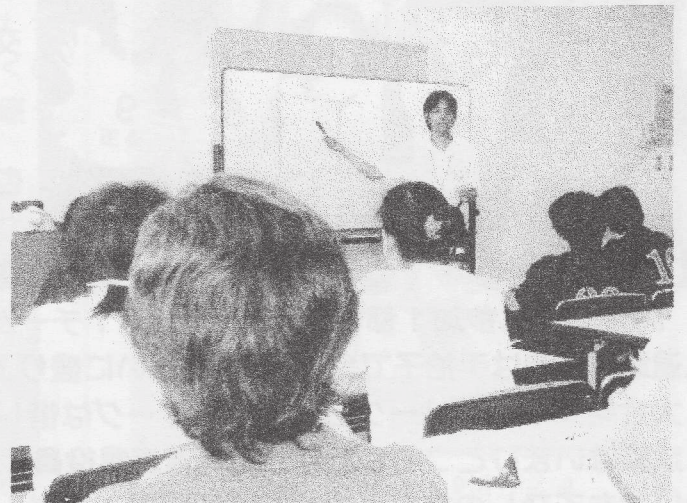
平成19年7月29日(日)西部ブロック審判講習会が行われ、90人近い会員の方が参加してくださいました。

実技では、まだオフィシャルルールの対応ではありませんでしたが、講義では、JIAオフィシャルルールの講義をしてくださいました。

コート内では、主審・副審・線審・吹笛などの指導を一生懸命行ったださっている指導者の方々の姿を見て、心あたまる思いをしました。

11月には、西部ブロックとしてJIAオフィシャルルールの講習会の開催を予定しておりますので、会員の皆様と共に審判の練習をがんばりたいと思っております。

記 高橋 貴名



第35号のクイズコーナー

問題：インディアカ教本に書かれているインディアカボールの前身といわれるものは、

- ①ペチカ
- ②ペテカ
- ③ポチカ
- ④パンダ
- ⑤テペカ

①～⑤のうちのどれでしょう？



↑イギリスのもの

☆コメントを募集します！

次号より、皆さんから寄せられたコメントなどを紙面でご紹介していこうと考えています。

コメントは、下記のどれかでお寄せ下さい。

1. 各市町村の理事さんから広報部へ
2. 直接郵送 〒340-0041
草加市松原3-C68-304
埼玉県インディアカ協会広報部員宛
3. パソコンのメールで

thanks2525@gmail.com

(市町村・クラブ名・性別・年齢はお知らせ下さい。ニックネームなどご希望の方は、そちらもお書き下さい)

応募方法：右記のコメントの募集と同じ方法で、ご応募下さい。正解者の方の中から厳正なる抽選を行い、所属クラブへ広報部取材班が練習日などに取材におうかがいし、そちらのクラブを広報紙上で、紹介させていただく予定です。

奮ってご応募下さい！

編集後記

初めての編集で、結構戸惑いました。印刷だけでも「しんどい」と思いました。今までの広報の発行に関わってくださっていた方々に改めて感謝です！

これからも、広報部は、皆さんに楽しんでいただける紙面作りを目指して、部長を中心に部員全員で協力して、頑張っていこうと思います。よろしくお願いたします。<()>

広報部員 Hiro